

プーク人形劇場企画
海外特別公演 No.31

Stuffed Puppet Theatre Neville Tranter

Babylon

Punch & Judy in Afghanistan

 新宿
南口 **プーク人形劇場**

Illustration by Ryoojig Seki (a69)

後援：オランダ王国大使館、NPO法人日本ウニマ、渋谷区教育委員会

助成：損保ジャパン日本興亜「SOMPO アート・ファンド」（企業メセナ協議会 2021 Arts Fund）



損保ジャパン日本興亜

Letter from Neville

今年、私の二つの作品が日本に招かれました。一つは、『アフガニスタンのパンチとジュディ』です。人形遣いとして仕事をしてきましたが、それまで「パンチ」は一度も演じてきませんでした。伝統的な棒遣い人形を用いたイギリスの伝統的人形劇を自分のやり方でやるというのは、私にとって一つの挑戦だったのです。そこで、ふつうの木製の人形は使わず、伝統的な形のブースの内側でも外側でも扱えるような、マペット型の小さな人形を作ることに決めました。それから、パンチがいつも他のキャラクターを叩くのを使うあの棒は使わないで、言葉によってその暴力性を表現することに決めました。

それから物語と舞台を考えました。舞台はアフガニスタンに据えて、パンチはオサマ・ビン・ラディンとしました。この物語が育って、一人の人形遣いとアシスタントのエミール（かなり犯罪的な人間）が、人形劇上演のためアフガニスタンへ招かれる、という話になりました。人形遣いもアシスタントも、状況がどれだけ危険なのかということも分かっていません。人形遣いがアシスタントをラクダに寄せ、写真を撮り、ラクダがパニックを起こして砂漠へ走って行ってしまおうところから、お話は展開していきます。人形遣いはアシスタントを探しに行き、そのうちにオサマ・ビン・ラディンその人に出会うことになるのです。この物語に欠かせないと思ったキャラクターを選びました。

この作品を通して、伝統的な棒人形のパンチとジュディは現代の出来事を描くのにふさわしく、また非常に説得的なものになる、ということを私は学びました。人形遣いである私にとって、あらゆる舞台芸術の根源へと遡るような、一つの冒険でした。

二つ目の作品は『バビロン』です。この作品で私が扱いたかったのは、ボート難民という主題です。この作品での挑戦は、観客の注意を惹きつける、新しい物語をつくるということでした。この作品作りで私が学んだのは、キャラクターというものは互いに全く異なるものでなければならないということでした。言い換えれば、それぞれが独自の仕方世界を知覚しているということです。

私はこれまで自分の作品に神を人形として登場させたことがありませんでした。神について考え、そのまま悪魔についても考えました。悪魔が天国を追出されたことで、神に復讐しようと思ったらどうなるのだろうか。そして悪魔が神の子イエスを誘惑し、罠にかけ、約束の地バビロンへのボートに寄せたらどうなるのだろうか。そうして私の物語は発展し、他のキャラクターが加わりました。舞台は北アフリカの淋しい海岸で、ここで全ての出来事が起こります。神と、人間と、生き残るものと、生き残らないものについての劇になりました。可笑しく、感動的で、悲劇的で、人間性に満ちています。この物語『バビロン』は、私の人形俳優たちが居なければ成りませんでした。なんと素晴らしい俳優たちでしょうか！

この二つの物語を、日本で上演できることを心待ちにしています。また私を招いてくれたブーク人形劇場に、心からの感謝を伝えたいと思います。

ネヴィル・トランター

N. J. Tranter



スタッフ・パペット・シアター (オランダ)

主宰: ネヴィル・トランター／オーストラリア生まれ。

1976年、Stuffed Puppet Theatre を設立。

1978年、アムステルダムでの演劇祭“Festival of

Fools”への参加を機にオランダへ移住。1997年からはウィム・シトヴァストが参加し、技術や事務サポートの他、時折舞台にも登場する。

劇団を旗揚げ以来、一貫して現代の社会問題、人間模様を彼独自の視点で描き、作・演出・出演と独り舞台を次々と発表し続けている。人形劇フェスではネヴィルの新作＝行列（切符）が定説となっているほどの実力者。欧州のみならず世界中で活躍を続け、圧倒的な演技力で観客を魅了している。

教育者としても秀でた才能を持ち、現在フランス国立人形劇芸術高等学院 (ESNAM) はじめ、欧州各国で人形劇専攻科の講師を務める。

スイスやフランスにて人形表現を取り入れたオペラ作品も演出。演出家・俳優・研究者としてその活動の幅を広げている。



illustration: 木田菜美子

www.stuffedpuppet.nl

ネヴィルというアーティスト

彼は、政治家ではありません。新聞記者でもありません。

彼は、オーストラリア生まれで、現在オランダを拠点に、世界中で人形芝居を居ける、当代きっての人形劇役者です。2018年5月に「バビロン」、9月に「アフガニスタンのパンチとジュディ」をみました。

ネヴィルは、政治や世界で起こっていることを考えろとはいいいません。かれが何を考えているか、声高にもいいません。ただ、観客席にいと、見ているものとしては、大いに笑いながらも、帰り道になにか考えさせられるのです。ユーモラスな、人形の表情をおもいだしながら…。古い歴史を紐解くのもなく、また未来をただ憂うのもなく、私たちはまごうことなく、今現在、歴史の線上に生きている…と、思わせてくれるのです。

ネヴィルはたくさんの創作劇を作ってきました。シャルルビル・メジエールの800人の会場では、たった一人で、観客を我が物にしました。でもかれは今、さしてりっぱな劇場設備もいらず、トランク二つで仕込みにも時間をかけず、気軽に「創作芝居」をもって、フラツとやってきては、世界におきているさまざまな国の、さまざまな地域の人間模様を描いて、笑わせたり、嘆かせたりする、鋭くもシャイな旅人・芸術家なのです。

小柳田美子 (人形劇団ブーク国際部／国際人形劇連盟評議員)



創業61年 つながる心 ひろがる未来

各種冷暖房設備 給排水衛生設備 電機器制御盤

中央冷熱電機株式会社

〒145-0071 東京都大田区田園調布5-48-10 TEL 03-3721-9171 FAX 03-3721-9172



本日はご来場ありがとうございます。

2017年の「マチルダ」から2年。熱烈なリクエストの声にお応えし、再招聘がかないました。観るものの心の奥まで見透かすような、人形の「目」。言葉以上に物語るネヴィルの人形たちの世界を、どうぞ最後まで、ごゆっくりお楽しみ下さい。

(ブーク人形劇場)

Tour schedule

B バビロン／ **P** パンチ&ジュディ

札幌市こどもの劇場やまびこ座

7月 27日(土) 19:00 **B**
28日(日) 13:30 **P**

ブーク人形劇場
海外特別公演No.31

29日(月) 19:00 **B**
30日(火) 16:00/19:00 **B**
31日(水) 16:00 **B**
8月 1日(木) 16:00/19:00 **P**

飯田人形劇フェスタ2019
飯田人形劇場

3日(土) 15:30/19:30 **P**
4日(日) 11:00/15:30 **B**

人形劇場とらまる座

9日(金) 19:30 **P**
10日(土) 13:30 **B**

三次市民ホール KIRIRI

12日(月) 14:00 **B**

損保ジャパン日本興亜
人形劇場ひまわりホール

14日(水) 19:00 **P**
15日(木) 19:00 **B**



Babylon

Characters

船長

カロン

老女

アフリカ少年

ネヴィル

イエスの子羊

神

天使

悪魔



Punch & Judy in Afghanistan

エミール

人形遣い

TVジャーナリスト

ラクダの飼い主

兵士

ラクダ

ワニ／セールスマン

death／死

ベビー・ビン・ラディン

悪魔

パンチ・ビン・ラディン

その妻ジュディ



Characters

人形遣いのアシスタント。ちょくちょく犯罪を犯す。しかしアフガニスタンではみな、こういう小物の犯罪者をどうやって扱うべきか心得ている。

気の良い人間。残念ながら、すべての人が心優しく友好的とは限らない、ということに分かっていない。

センセーショナルなニュースにだけしか関心が無い。被害者への共感を持たない。

遠くの国から来た人形遣いなどどうでもいいが、人形遣いのカネにだけは関心がある。

アフガニスタンについて、外国人兵士が理解できることなどあるだろうか。ただ生き延びよ、そしてそれ以外の全てを忘れよ!

ポピーのお花とアヘンが大好き。

Bodybag（死体袋）を売っている。急成長中のビジネス。イデオロギーと宗教は大事だけど、ビジネスはもっと大事!（伝統的なパンチとジュディには、いつもワニが登場する。アフガニスタンにワニはいないかもしれないが、この劇には登場する。）

パンチとジュディのお芝居には、いつも「死」の擬人化が登場する。この作品では、「死」は一種の「ジン」（アラビア文化における精霊）。始めはフレンドリーで優しいが、次第に暗闇へ、死へと導いていく。

パンチ・ビン・ラディンの息子。大きなナイフを持つ恐ろしい赤ん坊。両親から「殺し方」をしっかり学んだデキる子。

「悪」の擬人化。この作品では、悪魔は自分を哀れんでいる。人間はもう彼を必要としない。彼の導きなしでも、人間は悪さができるから。

伝統的なパンチ同様、モラルに欠け、何に対しても尊敬の心がない。

おなじく伝統的な人形劇のキャラクター。夫同様、モラルに欠けている。

プーク人形劇場 海外特別公演 No.31

Stuffed Puppet Theatre
スタッフド・パペット・シアター (オランダ)

ネヴィル・トランターの世界

「バビロン」
Babylon

「アフガニスタンのパンチとジューディ」
Punch & Judy in Afghanistan

作・演出・美術・出演
ネヴィル・トランター Neville Tranter

アシスタント
ウィム・シトヴァスト Wim Sitvast

Staffs

日本ツアースタッフ
日本語字幕：玉木暢子
舞台監督：石田律子
照明：阿部千賀子
字幕オペレーター：石田律子
山口遥子
WS 通訳：玉木暢子
山口遥子
制作：伊井治彦
パンフレット編集：小原美紗

プーク人形劇場

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-12-3
tel.03-3379-0234 / fax.3370-5120
e-mail:theatre@puk.jp
<https://www.puk.jp/theatre/>



人形劇団プーク 創立90周年記念公演 紀伊國屋書店提携公演

— おとなの童話 —

オッペルと象

8月29日～9月1日

会場：新宿東口 紀伊國屋ホール

原作／宮沢賢治
脚色・演出／井上幸子 美術／若林由美子
音楽／マリオネット (湯浅 隆・吉田剛士)
照明／増子顕一 (SLS)

puk90.localinfo.jp/



文化庁文化芸術振興費補助金
舞台芸術創造活動活性化事業
独立行政法人日本芸術文化振興会



プーク人形劇場 海外特別公演 No.32 アルファ劇場 (チェコ)

Dr.ファウスト/ドン・ファン 2本立て



10月23日(水)・24日(木) 19:00開演(予定)
詳細は後日webにて!

テレビ・CM・番組制作 etc...

映像に特化した人形劇・人形制作のパイオニア

スタジオ・ノーヴァは人形劇団プークの映像部門を母体とし、1970年に設立。
2020年には創立50周年!!



STUDIO NOVA
スタジオ・ノーヴァ



〒151-0-053 東京都渋谷区代々木 2-12-1 記録映画社ビル 5・6F
tel : 03-3379-4331 fax : 03-3379-4331 url : <http://www.st-nova.jp/>



ドイツの山小屋をイメージさせた店内で
おいしいドイツ料理とビールをお楽しみください。

クライネヒュッテ
KLEINE HÜTTE

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-11-5 アクティブ新宿ビルB1
TEL:03-3320-3557 FAX:03-3320-9369

puppet



Lighting

人形劇、児童劇の照明
どんな事でもご相談ください。

有限会社 第一ステージサービス

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-12-4 502号

TEL&FAX 03-3370-0487
stage1@ninus.ocn.ne.jp